

都市再生整備計画 事後評価シート
指扇駅周辺地区

平成28年3月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	指扇駅周辺地区			面積	約76ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	3,664百万円	国費率	0.327					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	道路(指扇駅北口駅前広場、市道32223号線)、高質空間形成施設(市道32208号線歩行者通路)、高次都市施設(指扇駅南北自由通路)										
	提案事業	地域創造支援事業(駅橋上化)										
			事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	-				-				
	新たに追加した事業	提案事業	なし	-				-				
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
	変更	-	-				-					
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	踏切歩行者交通量	人	1,082	H21	650	H26	213	○	あり	指扇駅北口駅前広場や市道32223号線の整備により、駅北口への歩行者動線を確保した。また、JR川越線の指扇駅橋上化及び南北自由通路の整備により、鉄道南北における歩行者の往来等の利便性が向上した。このことから、既存の踏切を横断せずに、駅へのアクセスが図れ、踏切歩行者交通量は減少した。	
	指標2	踏切自動車交通量	台	1,426	H21	1,350	H26	1,413	△	あり	地区の南側から北側への通過交通を含めた自動車交通量が増加したため、踏切自動車交通量は僅かな減少にとどまり、目標値は達成できなかった。しかし、指扇駅北口駅前広場及び市道32223号線の整備により、駅北口へのアクセスが可能となり、今まで踏切を横断し駅南口を利用していた自動車交通量が減少したことから、目標達成度は「△」とした。	
指標3	道路整備や鉄道サービス等の充実への満足度	%	16.6	H20	19.0	H26	16.5	△	あり	市の施策に対する市民の意向等を把握する市民意識調査では、指扇駅を利用していない人が多く含まれていたため、「道路整備や鉄道サービス等の充実への満足度」に大きな変化がなく、目標値は達成できなかった。しかし、バリアフリー化を図った駅南北自由通路、指扇駅北口駅前広場及び市道32223号線の整備によって、駅の利便性や駅へのアクセス性が向上し、「その他の数値指標3 指扇駅利用者の満足度」においても高い数値が得られていることから、目標達成度は「△」とした。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	小型自動車類の踏切自動車交通量(北側から南側方向)	台	758	H21			639			指扇駅北口駅前広場や市道32223号線の整備により、地区の北側から指扇駅北口への自動車アクセスが可能となったことから、地区の北側から駅南口へ向かう小型自動車類の踏切自動車交通量は減少した。	
	その他の数値指標2	乗合バスの運行時間	分	15	H25			14			指扇駅北口駅前広場や市道32223号線を整備し、乗合バス乗降場の一部が駅南口から北口に移設された。これにより鉄道北側方面に向かう乗合バスの運行距離が短くなり、指扇駅から平方まで運行する乗合バスの運行時間は短縮した。	
その他の数値指標3	指扇駅利用者の満足度	%	-	-			80.4			指扇駅利用者を対象としたアンケート調査(聞き取り方式)を平成28年2月に実施した結果、選択肢5項目のうち「とても利用しやすくなった・利用しやすくなった」を選択した割合が80.4%を占め、駅利用者の高い満足度が得られていることを確認した。		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの乗降場所が指扇駅北口駅前広場内に移設され、タクシー利用者の円滑な乗降が可能となった。 地元ボランティアの協力を得て、指扇駅北口駅前広場から西大宮駅までの文化財満喫ハイキングを開催し、参加者や地元住民との交流を図った。 											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	地元自治会へヒアリングを実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元ボランティア団体が協力して、指扇駅北口駅前広場の市民花壇の管理等を行い、環境美化に取り組む。					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

指扇駅周辺地区(埼玉県さいたま市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	評価
大目標: 指扇駅の橋上化をはじめとした、駅周辺の骨格となる施設整備を行い、自然環境に抱かれた暮らしやすく、愛着のある市街地を形成する。 目標1: 駅アクセス性向上等による駅周辺地区の拠点性強化 目標2: 地域コミュニティを支える高質な交流空間の形成 目標3: 交通機能の充実による市街地全体の魅力向上	踏切歩行者交通量	単位: 人	1,082	H21	650	H26	213	H27
	踏切自動車交通量	単位: 台	1,426	H21	1,350	H26	1,413	H27
	道路整備や鉄道サービス等の充実への満足度	単位: %	16.6	H20	19.0	H26	16.5	H27



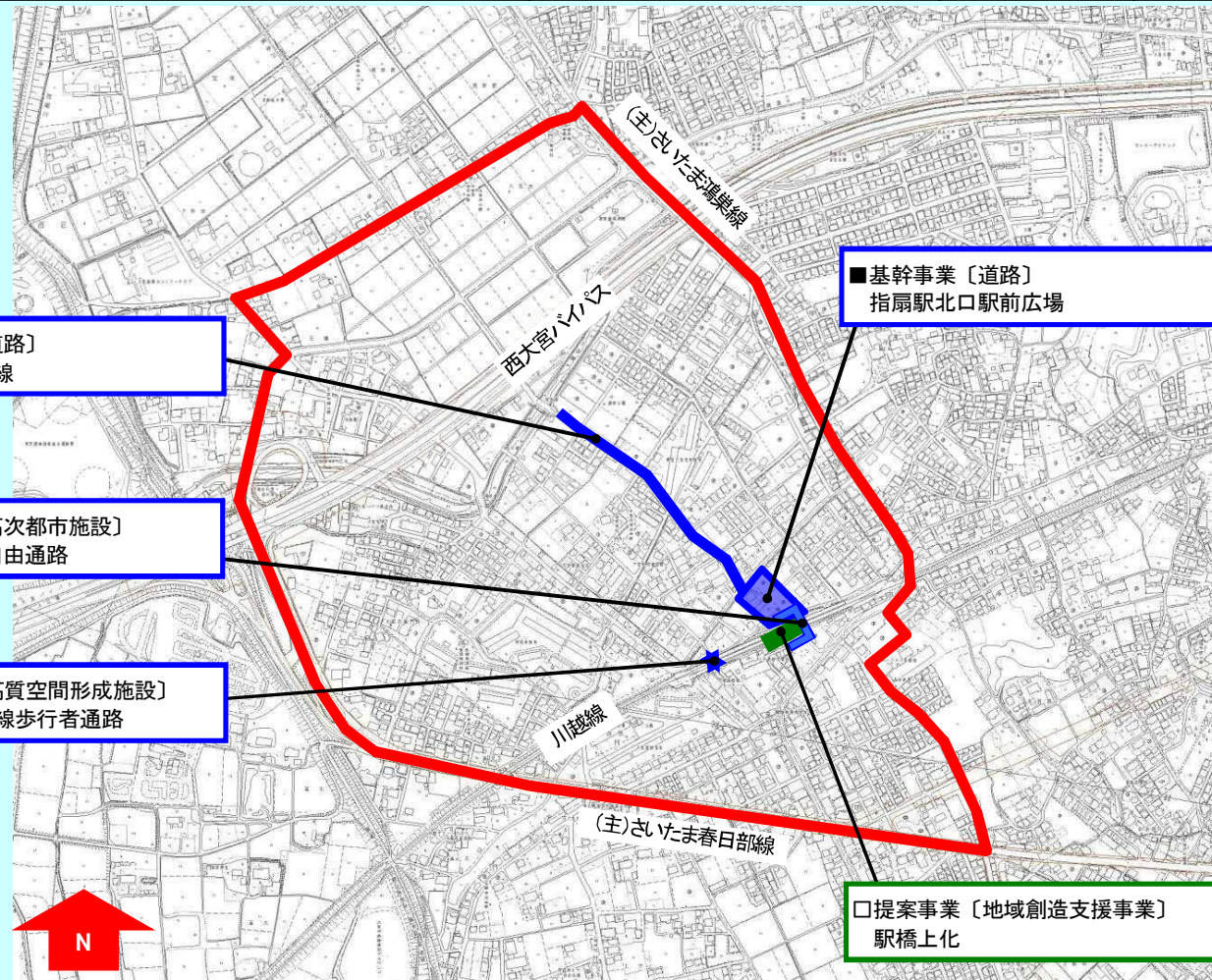
市道32223号線



指扇駅北口駅前広場バスシェルター



指扇駅南北自由通路



整備前



整備後

指扇駅北口駅前広場



整備前



整備後

指扇駅橋上化(北口)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 指扇駅橋上化に伴い、エレベーター、みんなのトイレなどのバリアフリー施設が整備され、誰もが利用しやすい駅になった。 JR川越線の指扇駅橋上化による駅北口の新設及び指扇駅北口駅前広場や市道32223号線の整備により、地区北側の住民は駅北口への利用が可能となった。 市街地が鉄道で分断されていたが、JR川越線の指扇駅橋上化による駅北口の新設、駅南北自由通路の整備により、鉄道南北における歩行者の往来等の利便性が向上し、駅南北の一体性が高まった。 指扇駅北口駅前広場を起点とした文化財満喫ハイキングを開催し、参加者や地元住民の交流を促進することができた。 市道32223号線の整備に伴い、道路両側に幅員3.5mの歩道を整備したが、駅周辺の安全な歩行者空間の確保を図る必要がある。 一体性の高まった指扇駅を拠点として、新たな来訪者の増加や区民との交流を深めるために、駅南北のまちづくりの支援及び地域コミュニティを醸成を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 通学路に指定している道路沿いの水路に蓋かけを行い、歩行空間を確保し交通の安全性を図る。 地域住民が主体となり、水やみどり・歴史文化の地域資源を生かしながら、潤いのあるまちづくりに取り組むよう支援する。 指扇駅北口駅前の空間を活用し、文化財満喫ハイキング等のイベントを継続的に開催し、地域コミュニティの醸成を図る。